

第4回定例会報告

4月20日開催

議事

- ・高島市学校給食運営委員会委員の委嘱について
 - ・高島市立学校結核対策委員会委員の委嘱について
 - ・高島市立学校の学校薬剤師の委嘱について
 - ・高島市少年センター運営委員会委員の委嘱について
- 以上の人事案件が提案され、それぞれの組織構成や委員としての適格性を慎重審議し、承認しました。

報告

- ・第53回滋賀県人権教育研究大会について
平成21年11月7日(土)、8日(日)の開催に向けた運営体制などの報告がありました。
- ・平成21年度子ども体験活動等について
子どもを対象とした体験活動、文化教室、公民教室の募集内容等の説明がありました。

ごあいさつ



たご まさる
多胡 賢 委員長

「教師ほど素晴らしい職業はない。なぜなら人を創る仕事だから…」中学2年社会の授業の合間に語られた先生の言葉に触発され、「将来は先生になろう」と思いました。家庭の事情で家業を継ぐことになりましたが今、教育委員会委員長の大役を仰せつかりましたことに、少しの因縁とその責務の重大さを痛感しております。

高島市の『志の教育』が人創り、街創りに資しますよう、皆様方のご教示、ご指導をお願い申し上げます。

私を育てていただいたこの高島に少しでも恩返しができるように、教育長を拝命いたしました。精神的に貧しく、物質的にもさらに悪化していくことが予想される世の中、本来の教育のあり方、高島に見合った教育を希求して思っております。市民の皆様とともに、当たり前前を誠実に実行していく中で「明るく元気な子ども」「活力ある学校・園」の育成を図ります。「一人ひとりの子どもにしっかりと光の当たる教育の実現」そして、いつでも、どこでも、誰でも自由に学び、学んだことを生かし生かせる「生涯学習社会」の実現に全力投球いたします。ご指導・ご鞭撻よろしくお願いたします。



たかはし ひろし
高橋 博志 教育長



にしむら かつはる
西村 勝晴 委員

今年度、教育委員を拝命しました西村と申します。仕事の重大さを考えますと、身の引き締まる思いです。「教育現場は、大人が働きやすい所であり、子どもたちが鍛えられ、成長が期待される場であること」を求めつつ、長年教育現場で動いてまいりました。

今年は、情報をできる限り収集し、「心豊かでたくましい人」づくりに邁進されている現場の方々を少しでも支援できるよう、自分の経験を生かして頑張りますのでよろしくお願いたします。



きたがわ のぶこ
北川 暢子 委員

この度、教育委員を拝命しました。私は、人育てという尊い営みは、個人の学力と人格形成だけにとどまらず、家庭、地域、社会にとって、どんなにか大切であるかということを考えてきました。

また、厳しい時代に対応できるたくましい精神とともに、温かな心を育てていくことが、大きな課題であるとと考えています。

高島市の教育基本方針「心のかよう人づくり」の教育行政推進のため、微力ながら、努力したいと思います。よろしくお願いたします。



きど しげとみ
城戸 重臣 委員

この度、微力ではありますが教育委員をお引き受けすることになりました。高島には素晴らしい自然・古い歴史と文化が生きています。この恵まれた環境の中で、子どもから高齢者までの人々が、生涯において学習のできる機会と充実を知らなくてはなりません。今までの経験を生かし、更なる研鑽を積んで、高島の生涯教育発展のため尽力したいと思います。どうぞよろしくお願いたします。



本当に効きますか？



健康で長生きしたいという消費者の心理をついたものに健康講座商法があります。これは、空き店舗を利用して数ヶ月間だけ営業し、健康食品などを売る事が目的の商法です。

人を集めるために格安で食品を提供するというチラシを配り、集まった人に対して健康講座を開きます。そして「これを飲めば病気が治る」「身体の痛みがとれる」といった大げさな説明で、健康食品を紹介するものです。

格安の食料品と巧みな話術に釣られて何度も健康講座に通い、高額な商品を大量に買ってしまいうケースも見受けられます。

しかし、健康食品は薬ではないので、期待していた効果があるとは限りませんし、身体に合わない場合もあります。販売員の言葉をうのみにせず、本当に必要かどうか冷静に判断しましょう。また、健康に不安のある場合は医師に相談するのが一番です。

岡市民課 市民相談室
☎(0570)812255



エコドライブ 10 か条

- 1. 不要なアイドリングはやめましょう**
乗用車がアイドリング時に使う燃料は、1分間で約28cc、10分間なら約0.3ℓ。1回ではわずかな量でも、日々続ければ大変な量になります。
- 2. タイアの空気圧をチェックしましょう**
空気圧の不足は走行抵抗を増加させ、燃費の悪化にもつながります。
- 3. 不要な荷物は降ろしましょう**
約30kgの荷物を積みっぱなしにすると、1ヵ月で1,000km走行したとして1ℓ近くの高ソリンを余分に消費することになります。
- 4. 暖機運転は適切に**
寒冷地や長期間放置した場合も長時間の暖機は不要(数十秒でOK)。ゆっくり走りながら暖めるウォームアップ走行で充分です。
- 5. 急発進、急加速はやめましょう**
100回の急発進や急加速をすると約1.2ℓの高ソリンが余分に消費されます。
- 6. 車間距離は余裕をもって**
走行中は、速度を一定に保ち、ムダな加減速をしないことが燃費向上のコツです。
- 7. エンジンブレーキを積極的に使しましょう**
山道のような長い下り坂などでは、エンジンブレーキを活用し、燃料消費を減らすようにしましょう。
- 8. 駐車場はよく考えて**
渋滞などをまねくことから、違法駐車はやめましょう。
- 9. 夏のカーエアコンの設定は1度高めに**
外気温25℃の時にエアコンを24℃に設定した場合、温度差は小さくてもオンにするだけで燃料消費量が14%も増加します。
- 10. 計画的にドライブをしましょう**
出かける前に計画・準備をして、渋滞や道路障害等の情報をチェックしましょう。

出典 財団法人/省エネルギーセンター 社団法人日本自動車連盟 (J A F) 岡環境政策課 ☎(25)8123

チャレンジ 省エネ 長者作戦

毎日の生活の中で、節電などの省エネを心がけることは、地球にやさしく、家計を助けることにもなります。このコーナーでは家庭で簡単にできる省エネを紹介します。

季節が良くなり、車で出かける機会も多くなります。地球にやさしいエコドライブを心がけて温暖化防止に協力しましょう。

